
恋姫物語～神に恵まれし者～

暁

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋姫物語〜神に恵まれし者〜

【Nコード】

N3916Y

【作者名】

暁

【あらすじ】

何気ない日常を過ごして居た主人公が突然なにもない真っ白な空間に立っていた

そして神様から告げられた事とは……

作者は初心者です？

駄文になるかもしれないですがよろしくお願いします

与えられし力は破滅を呼ぶか奇跡を呼ぶか（前書き）

初めて書きます。

至らぬ点もあると思いますがよろしくお願いします。

与えられし力は破滅を呼ぶか奇跡を呼ぶか

此処は何処だ……………

周りを見渡すが辺り一面真っ白な空間ばかりだ

「ええ……と？」

「たしか俺は部屋で寝ていはずたよな？」

よし行動を振り返ろう？

まず高校から帰ってきて道場で稽古して飯食って少し運動して風呂に入って読書して普通に寝たよな？

「うん…やっぱり訳がわからない？」

しばらく考え込んでいると後ろに何か気配がしたので向いてみると……………

そこには土下座をしている真っ白な服を着た老人がいた……………

「えつと？どちら様ですか？」

《本当にすみませんでした……………》

「いや…？いきなり謝られても困るんだが？」

《それもそうじゃな…とりあえず名乗ろうかの…僕は神様じゃ》

「はっ？」

《だから神様じゃと言っておろうが》

「何故に？そして此処はどこなんだ？」

《お主にやって貰いたい事があっての〜そして此処は天界じゃ》

「天界？なにそれ俺死んだの？」

《まあ〜確かにお主には死んで貰ったんじゃが…だから謝ったのじや》

「勝手に殺すなよ〜？」

まあそうならしょうがないし？

アフターケアちゃんとしてくれよ」

《その辺は大丈夫じゃこちらから呼び立ててしもつたからの家族へのフォローはちゃんとするわい》

「それで俺に何して欲しいの？」

《実はのお主にはある外史の世界に行つてほしいのじゃ》

「外史つていくつもの世界が広がってるあれか？」

《そうじゃ、それにしてもお主よく知っておるの〜》

「よく読書するからそんな感じの読んだことあるんだよね」

《そうか、なら話しが早いお主にはそこに行つてその外史を救つて欲しいのじゃ》

「分かつた、とりあえずどんな外史に行くんだ？」

《それはの………三国志の世界じゃ》

「えっ？危険真つ只中に行けと？」

《そこでじゃ、お主には僕の願いを聞いてもらつじやから三国世界に行つても生き抜けるよう能力を授けようと思つての》

「それなら良かった？行つていきなり死んだら洒落にならん？所でそる能力つてなんでもいいの？」

《まあ大抵の事なら構わぬよ、無理なものもあるのじゃが》

「マジ？それじゃあ

F a T eの全ての宝具でしょ？それとB L E A C Hの斬魄刀全と
N A R U T Oの世界に出てくる忍術全てで写輪眼とかのリスク無
しで後は刀語の完全系変体刀全とオリジナル作成可能にして欲し
い」

《かなりのチートっぷりじゃの？》

「まあこれでも漫画好きですから一度はやって見たいし、外史を救うにはこれくらいしないと何かあつても困るし？」

《それもそうじゃな》

「所でその三国志の世界はどんな感じなの？」

《うむ、それはじゃな……………有名武将が全て女性じゃ》

「えっ？マジすか？」

《マジじゃ、まあお主なら何とかなるじゃろ》

「頑張ります？それじゃ〜しばらく此処で修業していいですかね？」

《それくらい構わぬよ、お主はまだ16才くらいじゃからの2年くらで良いかの〜？》

「うん、それくらいで良いかな。後流石に勉学は学びたいです？」

《うむ、それくらい儂が教えよう》

「よろしくお願いします」

2年後……………

えっ？早過ぎるって？

気にしないでください

(笑)

「ふう〜これくらいでいいかな〜何とか能力使いこなしてきたし、知識も体鍛えたし頑張れるかな」

《お主はやはりチートじゃ？たった2年で全て扱える様になったの

じゃからな？知識も天才の域を越えたしの？まあこれならあつちの世界に行っても大丈夫じゃろ》

「それじゃ、そろそろ行きますか」

《うむ、それでは頼んだぞ》

そしてまばゆい光に包まれ意識が沈んでいった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3916y/>

恋姫物語～神に恵まれし者～

2011年11月10日06時16分発行